

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)

愛知みずほ大学 数理・データサイエンス教育 2024年度 自己点検・評価結果 《概要》

2024年度における「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」を構成する授業科目「データサイエンス」について点検・評価を行った。

1. 点検・評価に用いた資料等

- ①上記科目の履修学生の自己評価(授業科目レベルの学習成果に関しての自己評価)結果
- ②上記科目の授業アンケート結果
- ③上記科目のシラバス
- ④上記科目の履修状況に関するデータ

2. 教育プログラムの履修・終了状況・学習成果の把握・改善

当該プログラムは2022年度より開講し、1年生後期より履修可能なカリキュラムとして配置した。学習成果の向上を目的として、履修者を2クラスに分割し、1クラスあたり約50名とする少人数体制を導入した。これにより、教員と学生の双方向的なコミュニケーションが促進され、理解の深化および定着が図られている。

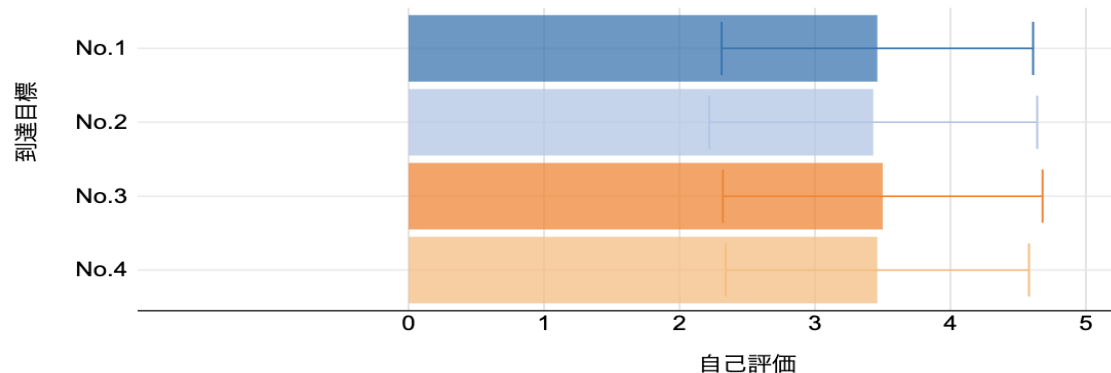
3. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学の連携科目として開講しており、学内で周知されている。将来的に必修科目とすることを目指しており、現在は選択必修科目として課題の抽出と改善を図っている。

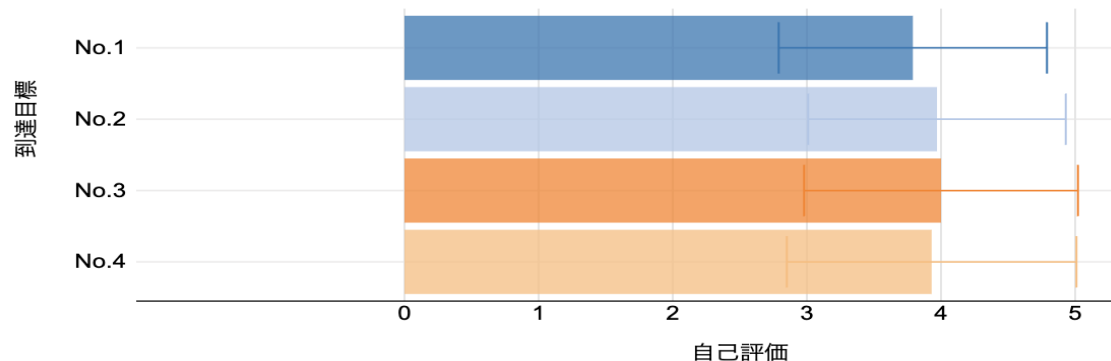
4-1. 学生の自己評価

到達目標:

- No.1 社会におけるデータ・AI利活用を理解し説明できる
- No.2 データを正しく利活用するための方法や留意点を理解し説明できる
- No.3 データ処理や統計解析の基本を理解し説明できる
- No.4 日常生活でデータサイエンスの利活用を考えることができる



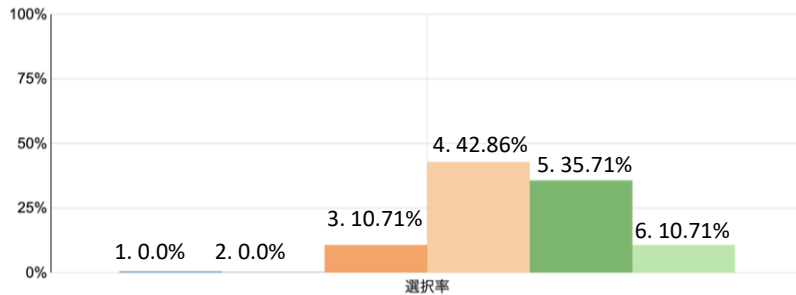
クラスA



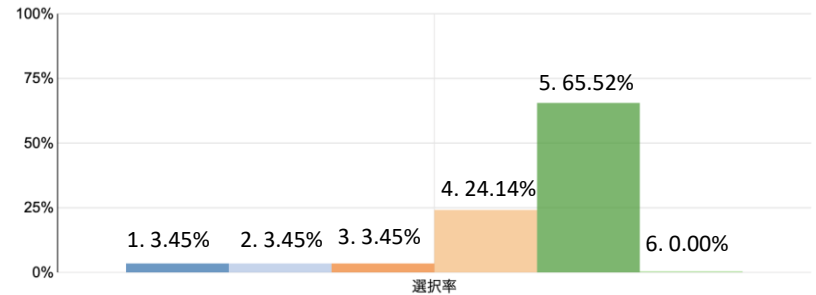
クラスB

4-2. 授業アンケートの結果

授業への満足度(クラスA)



授業への満足度(クラスB)



● 1. 不満 ● 2. どちらかと不満 ● 3. どちらとも言えない ● 4. どちらかと言うと満足 ● 5. 満足
● 6. 受講しなかった（履修登録抹消手続きを忘れ、欠席過多となった者はこの欄を選択）

5. 自己点検・評価結果の総括

自己点検・評価の結果、学生による自己評価および授業アンケート調査から、学生の理解度および満足度は総じて高い水準であることが確認された。具体的には、到達目標No.1～4に対する自己評価において、両クラスともに各項目の平均値がいずれも3.5以上を示しており、高い水準と評価できる。また、授業に対する満足度に関しては、両クラスとも「4. どちらかといえば満足」および「5. 満足」と回答した学生の割合がそれぞれ80%に達しており、こちらも高い評価結果が得られている。今後も、学生の学修意欲を高く維持できるよう、引き続き教育内容および指導方法の工夫・改善に努めていく。